



## GLOSSARY

### A

- AAA** Authentication, Authorization and Accounting (認証、許可、アカウントिंग)。加入者の管理のためにネットワーク アクセス サーバで必要とされる 3 つの主要サービスです。
- ACL** Access Control List (アクセス制御リスト)。
- ACO** アラーム音カットボタン - 外部音声アラームを停止できます。

### B

- BBA** Broadband Aggregation (ブロードバンド アグリゲーション)。この用語は、加入者を収益の出るサービスにダイナミックに関連付けることを指します。
- BITS** Building Integrated Timing Source。
- BLT** Bandwidth Limited Traffic (帯域幅制限トラフィック) ストリーム。QOS のコンテキストで使用します。
- BootROM** 読み出し専用メモリの起動。

### C

- CAC** Call Admission Control (コール アドミッション制御)。イベントを受容するか拒否するかを判断するために、コール イベントのセットアップ フェーズでネットワークによって取られる一連のアクションです。
- CI** Cluster Interconnect (クラスタ相互接続)。
- Cisco ASR1000-ESP5 ASR1000-ESP10 ASR1000-ESP20** Cisco ASR 1000 シリーズ Embedded Service Processor (ASR1000-ESP) は次世代のシリコンでの転送とキューイングのための Cisco QuantumFlow Processor に基づいています。ASR1000-ESP5 と ESP10、および ESP20 は Cisco ASR 1000 シリーズ Aggregation Services Router に 2 種類の中央フォワーディング エンジン オプションをもたらします。
- Cisco ASR 1000 シリーズ ESP は、データプレーンの処理と通過するネットワーク トラフィック フローの処理を行います。また、ファイアウォール、侵入防御、Network Based Application Recognition (NBAR)、Network Address Translation (NAT) などの機能も実行します。
- Cisco ASR1000-RP** Cisco ASR 1000 シリーズ Route Processor (RP1 および RP2) は、キャリアグレードの IP および Multiprotocol Label Switching (MPLS; マルチプロトコル ラベル スイッチング) パケット インフラストラクチャのルーティング処理要件に対応しています。高度なルーティング機能を備えており、Cisco ASR 1000 シリーズ Aggregation Services Router の他のコンポーネントの監視と管理も行います。

<b>Cisco ASR1000-SIP10</b>	Cisco ASR 1000 Series SIP は SPA の物理的な終端として機能し、最大で 4 台のハーフハイトおよび 2 台のフルハイトの Cisco SPA を収容し、イーサネット、ATM、Packet over SONET/SDH (PoS)、シリアル インターフェイスをサポートします。
<b>Cisco ASR 1002 ルータ</b>	Cisco ASR 1002 ルータは 2 ラックユニット (RU) のシャーシで、統合ルートおよびシリアル インターフェイス プロセッサが搭載されています。ハーフハイトおよびフルハイトの SPA をサポートする 3 つの Shared Port Adapter (SPA; 共有ポート アダプタ) を内蔵しています。5Gbps または 10Gbps の内蔵サービス プロセッサ、および 4 台の内蔵ギガビットイーサネット ポートで構成できます。
<b>Cisco ASR 1002-F ルータ</b>	Cisco ASR 1002-F ルータは 2 ラックユニット (RU) のシャーシで、統合されたルート プロセッサ (Cisco ASR1002-RP1) および SPA インターフェイス プロセッサ (Cisco ASR1002-SIP10-F) を搭載しています。ハーフハイトの SPA スロットを 1 つサポートしています。
<b>Cisco ASR 1004 ルータ</b>	Cisco ASR 1004 ルータは 4 ラックユニット (RU) のシャーシで、最大 8 台の Shared Port Adapter (SPA; 共有ポート アダプタ) をサポートし、1 台のルート プロセッサと 1 台の内蔵サービス プロセッサ スロットが搭載されています。Cisco ASR 1004 ルータでは 10 Gbps スループットがサポートされます。
<b>Cisco ASR 1006 ルータ</b>	Cisco ASR 1006 ルータは 6 ラックユニット (RU) のシャーシです。10 Gbps のスループットがサポートされているデュアル ルート プロセッサおよび内蔵サービス プロセッサ サポートのオプションもあります。また、最大 12 の Shared Port Adapter (SPA; 共有ポート アダプタ) もサポートされており、3 つの Cisco ASR 1000 シリーズ ルータの中でポート密度が最大になっています。
<b>Cisco IOS XE</b>	Cisco ASR 1000 シリーズ ルータを稼働させるためのオペレーティング システム。Cisco IOS XE は統合パッケージでリリースされ、従来の Cisco IOS と同じコマンドライン インターフェイスを使用します。
<b>Cisco Quantumflow プロセッサ</b>	Cisco ASR 1000 シリーズ ルータ用の転送プロセッサ チップセットで、ESP 上に装備されます。
<b>CPE</b>	Customer Premises Equipment (顧客宅内機器)。
<b>CTS</b>	Cisco Trusted Security。ユーザおよびデバイス認証、ロールベースのアクセス制御 (ネットワーク内でのパケットのタグgingを含む) のための、シスコが定義したプロトコルおよびプロシージャ。
<b>D</b>	
<b>DB-25</b>	AC 電源 DB-25 アラーム コネクタ - メス型の DB-25 D-sub コネクタによりルータへの外部アラーム 監視装置の接続が可能で、ルータのアラーム条件を処理する telco スタイルをサポートしています。
<b>DBE</b>	Data Border Element。SBC のメディア処理部分、つまりネットワークへのメディア パケットの制御 アクセスを表します。
<b>DCE</b>	Data Communication Equipment (データ通信装置)。DTE へのクロックを提供します。UART のコンソール ポート。
<b>DDR</b>	Double Data Rate - 両方のクロック エッジでデータを転送するデータ転送方式。
<b>DDR-SDRAM</b>	ダブル データ レート同期 DRAM。
<b>DES</b>	Data Encryption Standard (データ暗号化規格) アルゴリズム。
<b>DHCP</b>	Dynamic Host Configuration Protocol。

<b>DTE</b>	Data Terminal Equipment (データ端末装置)。UART の AUX ポート。
<b>DUART</b>	Dual Asynchronous Receiver/Transmitter。コンソールのシリアル ポートで使⽤します。
<b>E</b>	
<b>EBFC</b>	Event-Based Flow Control - 出力キュー ステータス デルタをホストに送信するために、ATM などの新しい高チャネル カウントの可変レート SPA で使⽤される SPA-SPI インターフェイス上のパケットベースのプロトコル。
<b>EFC</b>	Extended Flow Control - 出力キューのステータスをホストに送信するために高チャネル カウント SPA で使⽤されるカレンダーベースのインターフェイス。
<b>EMIX</b>	通常のエンタープライズ環境用の音声を含む、通常のトラフィック パターンで、一連のパケット サイズと 250 バイトの平均パケット サイズの情報を持ちます。
<b>EOBC</b>	Ethernet Out of Band Channel (イーサネット帯域外チャネル) - Cisco ASR 1000 シヤーシの制御プロセス間の通信に使⽤されます。
<b>ESI</b>	Enhanced SerDes Interconnect - 4 つのシリアル リンク。それぞれ、1.25 ~ 3.125Gbps、24b/26b。これらは RP、SIP、およびスタンバイ ESP モジュールをアクティブ ESP に接続するミッドプレーンのデータパス リンクです。
<b>ESP</b>	Cisco ASR 1000 シリーズ Embedded Services Processor。ESP では、転送プレーン トラフィックが処理され、ファイアウォールの監視、ACL、暗号化、QoS などのパケット処理機能が実行されます。Cisco ASR1000-ESP は本ドキュメントで「転送プロセッサ」とも呼ばれていることに注意してください。
<b>ESPBase</b>	ASR1000rp1-esppbase.pkg。ESP オペレーティング システム、制御プロセス、および ESP ソフトウェアを提供します。
<b>ESS</b>	制御プレーンから QFP データ プレーンのデータ構造にエッジ スイッチング サービス フィーチャ データをマッピングするフレームワークを提供する QFP クライアントです。
<b>EV-FC</b>	Event-based Flow Control - 出力キューのステータスをチップ間で通信するためのインターフェイスで、Embedded Services Processor (ESP) で使⽤されます。
<b>F</b>	
<b>FECP</b>	Forwarding Engine Control Processor。主に転送エンジンと I/O への接続の管理を行う転送プロセッサの汎用 CPU です。
<b>FH</b>	Full Height (フルハイト) の共有ポート アダプタ。
<b>FIB</b>	Cisco Forwarding Information Base (転送情報ベース)。
<b>FPD</b>	Field-Programmable Device。分割ソフトウェア アップグレードをサポートするルータ カードに実装されたハードウェア コンポーネントを指す用語。SIP と SPA が正しく機能するには、適切なバージョンの FPD が必要です。互換性のない FPD を使⽤すると、SIP 内の単数または複数の SPA のすべてのインターフェイスが無効になります。

<b>FPD イメージ パッケージ</b>	FPD イメージをアップグレードするために使用されます。SPA をサポートする Cisco IOS イメージがリリースされると、その Cisco IOS ソフトウェア リリースに対応した SPA FPD イメージ パッケージ もリリースされます。
<b>FRU</b>	Field-Replaceable Unit (現場交換可能ユニット)。
<b>G</b>	
<b>GEC</b>	Gigabit Ether Channel。802.3ad プロトコルに定義された復元力とロード シェアリングのためのギガビット イーサネット リンクの論理的集束です。
<b>GRE</b>	Generic Route Encapsulation (総称ルーティング カプセル化)。
<b>H</b>	
<b>H.248</b>	通常、低機能のデバイスと高機能のコントローラの間で使用される VoIP シグナリング プロトコル。機能的には Media Gateway Control Protocol (MGCP; メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル) と同様です。分散 SBC システム内で SBC と DBE との通信に使用されます。
<b>HH</b>	Half Height (ハーフハイト) の共有ポート アダプタ。
<b>HQF</b>	Hierarchical Queuing Framework。
<b>I</b>	
<b>IOCP</b>	I/O Control Processor。SPA を管理する汎用 CPU です。
<b>IOS</b>	Internetworking Operating System。
<b>IOS-SR</b>	Cisco ASR 1000 シリーズ ルータ上で動作する Linux ベースのソフトウェア インフラストラクチャ。
<b>IOSD</b>	ASR 1000 シリーズ ルート プロセッサで Linux のプロセスとして動作する IOS デーモンです。IOSD は IOS-SR の IOS プロセスです。制御プレーンのバルク、すべてのルーティング プロトコル、コンフィギュレーション ファイルの管理などのすべてが IOSD のドメインです。
<b>IPC</b>	Inter Process Communication (プロセス間通信)。それぞれのアドレス空間で動作するプロセス間でデータをやり取りする方法です。
<b>ISSU</b>	In Service Software Upgrade。システム稼働中のソフトウェア アップグレードを指します。ASR 1000 シリーズ ルート プロセッサでソフトウェアの 2 つの異なるバージョンを組み合わせる動作させることが可能で、この間 ASR 1000 シリーズ ルート プロセッサ間でのステートフル スイッチオーバーが可能です。
<b>L</b>	
<b>LC</b>	Line Card (ラインカード)。

<b>LDP</b>	Label Distribution Protocol。
<b>LIPC</b>	2つのプロセス間の Local IPC (ローカル IPC)。
<b>M</b>	
<b>MGCP</b>	Media Gateway Control Protocol (メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル)。通常、低機能のデバイスと高機能のコントローラの間で使用される VoIP シグナリング プロトコルです。機能的には H.248 と同様です。RFC 2705 で定義されています。
<b>MPLS</b>	Multi-Protocol Label Switching (マルチ プロトコル ラベル スイッチング)。
<b>N</b>	
<b>NAT</b>	Network Address Translation (ネットワーク アドレス変換)。IP アドレスをプライベート アドレスからパブリック アドレスにリアルタイムに変換するプログラムまたはハードウェアです。複数のユーザーが1つのパブリック IP アドレスを共有することができます。
<b>NAT Traversal</b>	エンドポイントが NAT デバイスの背後にあることを検出します。
<b>NBAR</b>	Network-Based Application Recognition。
<b>NMI</b>	Non-Maskable Interrupt (マスク不能割り込み)。
<b>NSF</b>	Non-Stop Forwarding。
<b>O</b>	
<b>OBFL</b>	On-Board Failure Logging。
<b>OID</b>	値は特殊な MIB モジュール内で定義されます。Event MIB を使用して、ユーザまたは NMS は指定のオブジェクトを監視し、存在、しきい値、プール テストに基づいてイベント トリガーを設定することができます。トリガーが有効になるとイベントが発生します。つまり、オブジェクトに指定したテストから真の値が返されます。トリガーを作成するには、ユーザまたは NMS が Event MIB の mteTriggerTable にトリガー エントリを設定します。このトリガー エントリにより、監視対象のオブジェクトの OID が指定されます。各トリガー エントリ タイプにつき、対応するテーブル (存在、しきい値、プール テーブル) にテストの実行に必要な情報が入力されます。MIB に、トリガーが有効になったときの動作を設定することができます。動作としては、SNMP Set を実行する、関連するホストに通知を送信する、あるいはその両方を実行する、という設定が可能です。
<b>OIR</b>	Online Insertion and Removal (ホット スワップ)。システム電源の中断、コンソール コマンドの入力、ソフトウェアまたはインターフェイスの停止を行うことなく、カードの追加、交換、取り外しができる機能。ホット スワップとも言います。
<b>P</b>	
<b>PDU</b>	配電ユニット。

<b>PEM</b>	Power Entry Module (電源入力モジュール)。
<b>PID</b>	Product Identifier。
<b>PLL</b>	Phase Locked Loop。
<b>POR</b>	Power-On Reset。
<b>PQ</b>	Priority Queue (プライオリティ キュー)。
<b>Q</b>	
<b>QDR</b>	Quad Data Rate。分離リード/ライト バス上の転送方式です。
<b>QFP</b>	Cisco Quantum Flow Processor。Cisco ASR1000-ESP のシスコが開発したネットワーク プロセッサの 1 つです。
<b>QoS</b>	Quality of Service (サービス品質)。
<b>R</b>	
<b>RP</b>	Cisco ASR 1000 シリーズ ルート プロセッサ (RP)。ルーティング プロトコル、CLI、ネットワーク管理インターフェイス、コード ストレージ、ロギング、シャーシ管理のための汎用 CPU です。ASR 1000 シリーズ RP は、ネットワーク制御パケットのほか、ASR 1000 シリーズ ESP でサポートされないプロトコルも処理します。
<b>RPAccess K9</b>	ASR1000rp1-rpaccessk9.pkg。クリプト RPAccess イメージ。クリプトをサポートする統合パッケージ内の RPAccess サブパッケージです。
<b>RPACCESS サブパッケージ</b>	セキュリティ機能などの制限されたコンポーネントの処理を行うサブパッケージ。
<b>RPBase サブパッケージ</b>	Route Processor のオペレーティング システム ソフトウェアを提供するサブパッケージ。
<b>RPControl サブパッケージ</b>	IOS プロセスとその他のルータ部分の間の制御プレーン プロセスを提供するサブパッケージ。
<b>RPIOS サブパッケージ</b>	Cisco IOS 機能の格納と実行を行うサブパッケージ。
<b>RU</b>	Rack Unit (ラック ユニット)。1 ラック ユニットは 1.76 インチです。
<b>S</b>	
<b>SBC</b>	Session Border Controller (セッション ボーダ コントローラ)。SBC は、Voice over IP (VoIP) やその他のプライマリ メディア関連ネットワークへのアクセスを制御するセッション アウェア デバイスです。SBC の主要な目的は、ネットワーク内部を過剰なコール負荷や不正なトラフィックから保護することです。

<b>SBC</b>	Cisco Session Border Controller (セッション ボーダ コントローラ) プロトコル実装は、音声およびビデオ ゲートウェイ機能を通常の IP データ サービスと同時に実行します。
<b>SBE</b>	Signaling Border Element。SIP または H.323 プロトコルによってすべてのコール処理を行う SBC のシグナリング エージェントのことで、一般的にコール制御機能を実行します。通常、SBE は 1 つまたは複数のメディア ゲートウェイを制御します。
<b>SFP</b>	Small Form-factor Pluggable (SFP; 着脱可能小型フォーム ファクタ) 光トランシーバ。前面パネル上に搭載される、ネットワーク接続機能を備えた光ファイバ レセプタクル デバイスのタイプです。
<b>SIP</b>	Shared port adapter Interface Processor。SIP はプラットフォーム固有のキャリア カードで、ラインカードのようにルータのスロットに搭載します。SIP のタイプに応じて、1 つまたは複数の SPA を SIP のサブスロットに搭載できます。SPA にはネットワーク インターフェイスが備わっています。SIP は ルート プロセッサおよび SPA 間を接続します。
<b>SIP (SBC)</b>	Session Initiation Protocol (セッション開始プロトコル)。VoIP シグナリング プロトコル。
<b>SIPBase サブパッケージ</b>	SPA ドライバ、SPA FPGA のほか、SPA に関連するソフトウェアを提供するサブパッケージ。
<b>SIPSPA サブパッケージ</b>	SIP オペレーティング システムと制御プロセスの制御に関連するサブパッケージ。
<b>SLA</b>	Service Level Agreement。提供するサービスのレベルを規定するサービス プロバイダーとカスタマーの間の契約。
<b>SPA</b>	Shared Port Adapter (共有ポート アダプタ)。SPA は、互換性のある SIP キャリア カードのサブスロットに搭載するプラットフォームに依存しないモジュラ型の共有ポート アダプタで、ネットワーク接続を提供するとともにインターフェイスのポート密度を向上させます。SPA は、ネットワークと SIP の間のインターフェイスを提供します。
<b>SSD</b>	ソリッド ステート ディスク ドライブ。
<b>SSO</b>	Stateful Switchover。状態監視のロスなしで、1 台の装置からもう 1 台の装置に稼働を移行すること。
<b>STP</b>	Shielded Twisted-Pair (シールドつきツイストペア)。
<b>U</b>	
<b>UDLR</b>	Uni-Directional Link Routing。
<b>UTP</b>	Unshielded Twisted-Pair (シールドなしツイストペア)。
<b>V</b>	
<b>VAC</b>	Volts Alternating Current (交流電圧)。
<b>VCCV</b>	Virtual Circuit Connection Verification。
<b>vDBE</b>	virtual DBE。DBE 内のリソース パーティションを表します。vDBE はメディア ゲートウェイの 1 つです。それぞれの vDBE を、H.248 プロトコルを使用する個別の SBE で制御することができます。

<b>VDC</b>	Volts Direct Current (直流電圧)。
<b>VID</b>	バージョン ID。
<b>VoIP</b>	Voice over Internet Protocol。POTS と同様の機能、信頼性、音声品質で、IP ベースのインターネット上で通常の電話のような音声を送信する機能。VoIP では、ルータにより IP ネットワーク上で音声トラフィック (電話の通話、ファックスなど) を送信することができます。VoIP では、DSP によって音声信号がフレームにセグメント化され、2 つずつペアにまとめられて音声パケットに格納されます。この音声パケットは、ITU-T 仕様 H.323 に準拠した IP を使用して送信されます。
<b>VPI</b>	Virtual Path Identifier (仮想パス識別子)。ATM セルのヘッダ内の 8 ビットのフィールドです。セルが一連の ATM スイッチを経由して宛先に送られるとき、セルの次の宛先は VPI と VCI によって識別されます。ATM スイッチは VPI/VCI フィールドに基づいて、通過すべき次の VCL を特定します。これが順次繰り返され、セルは最終宛先に到達します。VPI の機能は、フレーム リレーにおける DLCI の機能と同様です。
<b>VRF</b>	Virtual Routing and Forwarding Instance (仮想ルーティング/転送インスタンス)。
<b>VRRP</b>	Virtual Router Redundancy Protocol (仮想ルータ冗長プロトコル)。
<b>か</b>	
<b>仮想回線</b>	2 つのネットワーク デバイス間の信頼できる通信を保証するために作成される論理回線。仮想回線は VPI/VCI によって定義され、パーマネント (PVC) またはスイッチド (SVC) のいずれかに設定できます。仮想回線はフレーム リレーと X.25 で使用されます。ATM では、仮想回線は仮想チャネルと呼ばれます。
<b>け</b>	
<b>現場交換可能</b>	シスコのコンポーネントは、破損したら返送することができます。
<b>こ</b>	
<b>固定 SSH</b>	SSH 経由でルータにアクセスするユーザの処理を管理するためにトランスポート マップを使用する設定。
<b>固定 Telnet</b>	Telnet 経由でルータにアクセスするユーザの処理を管理するためにトランスポート マップを使用する設定。
<b>さ</b>	
<b>サブスロット</b>	SIP 上で SPA を搭載するセカンダリ スロット。
<b>サブパッケージ</b>	Cisco ASR 1000 シリーズ ルータの 1 つのソフトウェア ファイル。Cisco IOS XE ソフトウェアは統合パッケージとしてリリースされ、この統合パッケージには複数のサブパッケージが組み込まれています。それぞれのサブパッケージには、Cisco ASR 1000 シリーズ ルータを動作させるための処理内容が定義されています。



## し

- シリアル リンク** 最初 1.25 Gbit で動作してペイロードが 1.0 Gbit の送受信のシリアル ペア。今後、3.125 Gbit での動作と 2.5 Gbit のペイロードまで拡張可能です。
- シングル ハイト** SIP のサブスロット 1 つ（SIP の半分）を占有する SPA の寸法を表します。
- 診断モード** 非 RPIOS サブパッケージに格納されたすべてのコマンドへのアクセスが可能な Cisco IOS XE のコマンドモード。診断モードで使用できるコマンドは、特権 EXEC モードでも使用できます。

## せ

- 制御アドレス** SBE と SBE の間の H.248 制御トラフィックを終端させるために使用する SBE または DBE の IP アドレス。

## と

- 統合パッケージ** 複数のサブパッケージとプロビジョニング ファイルが含まれた単一のソフトウェア イメージ。Cisco IOS XE ソフトウェアは統合パッケージでリリースされ、Cisco ASR 1000 シリーズ ルータは統合パッケージまたは個別のパッケージを使用して動作します。
- トランスポート マップ** ルータにアクセスするユーザに関する粒度を高めるために使用できる設定オプション。トランスポート マップは、Telnet または SSH を使用してルータにアクセスするユーザまたはコンソール ポートに適用できます。
- トレース** 内部イベントを記録する ASR 1000 シリーズ ルータの機能。Cisco ASR 1000 シリーズ ルータではトレースを無効化することはできず、トレース ログはすべてトレース ファイルに保存されます。
- トレース ファイル** トレース データを保存するために Cisco ASR 1000 シリーズ ルータで自動的に生成されるファイル。通常、トレース ファイルは自動的にストレージ ディレクトリに保存されます。このファイルは、カスタマー サポートに役立ちます。

## ふ

- ブランク フィラー プレート** SIP の空のサブスロットを埋めるための空のパネル。SIP が正しく動作するには、すべてのサブスロットに動作可能な SPA またはブランク フィラー プレートを搭載する必要があります。
- プロビジョニング ファイル** Cisco ASR 1000 シリーズ ルータが個別のパッケージを使用して動作するよう設定されている場合に、ブート プロセスを管理するファイル。プロビジョニング ファイルは、統合パッケージの個々のサブパッケージに含まれます。また、ルータが個別のパッケージを使用して動作する場合、ブート ステートメントはブート ファイルとしてプロビジョニング ファイルを参照する必要があります。

## め

- メディア アドレス** メディア リレー機能のための DBE 上の IP アドレス プール。アドレス プールは、DBE が割り当てられたグローバル VPN に対して定義されます。DBE 内のすべての vDBE は、このプールからメディア アドレスを取得します。

## ろ

**ロケーション ID**

ロケーション ID はそれぞれの data border element (DBE) で設定されます。signaling border element (SBE) はエンドポイントと特定のロケーション ID を関連付け、その後そのロケーション ID を使用して、異なる DBE 間のコールをルーティングできます。